シンポジウム

【テーマ】　Web2.0 時代の情報システム

【テーマ解説】

世の中では Web2.0 という言葉が各種の雑誌にも取り上げられ，新しいコンセプトに基づく情報システムの時代が花開いているかのように言われている。しかし，実際には図書館や教育機関をはじめとした多くの機関で旧態依然としたシステムが使われ続けているのが現状である。この背景には，情報システムの設計者や利用者の多くが Web2.0 の概念についてはある程度理解していても，実際にどのようなサービスができるかなどという具体的なイメージを持つことができていないために，実際的な提案が困難であることなどがあげられよう。すなわち，概念としての Web2.0 の理解と現実的な応用との乖離である。このシンポジウムでは，既存のシステムと Web2.0 時代時代のシステムとの違いなどについて具体的な例を含めて検討することで，その考え方と有効性などを探る。

【パネリスト】

岡本　真（おかもと　まこと）

1973 年東京都生まれ。国際基督教大学卒業。1998 年より，インターネットの学術利用をテーマにした専門サイトである"ACDEMIC RESOURCE GUIDE"を運営。メールマガジンを発行するかたわら，主に研究環境の電子化，電子図書館化，蔵書検索（OPAC）の高度化，デジタルアーカイブ，ウェブアーカイブについて執筆・講演活動を精力的に行う。また IT 企業でウェブプロデューサーも担当。

兼宗　進（かねむね　すすむ）

1963 年東京都生まれ。1987 年千葉大学工学部電子工学科卒業，1989 年筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了。15 年間の企業勤務ののち，2004 年筑波大学大学院ビジネス科学研究科博士課程修了。博士(システムズ・マネジメント）。2004 年より一橋大学総合情報処理センター助教授(現，准教授)。主な研究対象分野はコンピューター教育など。自ら教育用プログラミング言語「ドリトル」の開発も手がける。また，図書館システムなどにも造詣が深い。

【司会】

宇陀　則彦(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科　准教授)